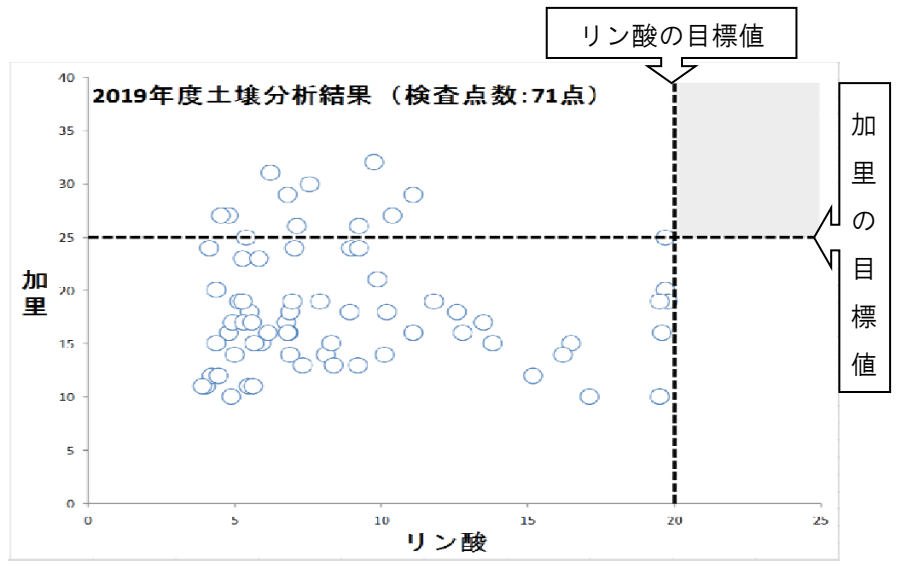


# 春の土壌改良資材散布

～ミネラルPKでリン酸・加里・カルシウムの補給を～

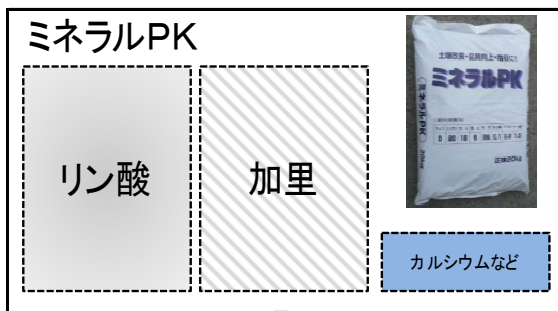
水田の三要素が依然として欠乏しており、2019年度に行った土壌分析の結果からも、リン酸と加里が特に欠乏していることが読み取れます。

右記の分布図を見ると土壌分析を実施した71圃場の内、加里の目標値を上回る圃場は見られましたがリン酸が目標値を上回る圃場はありませんでした。

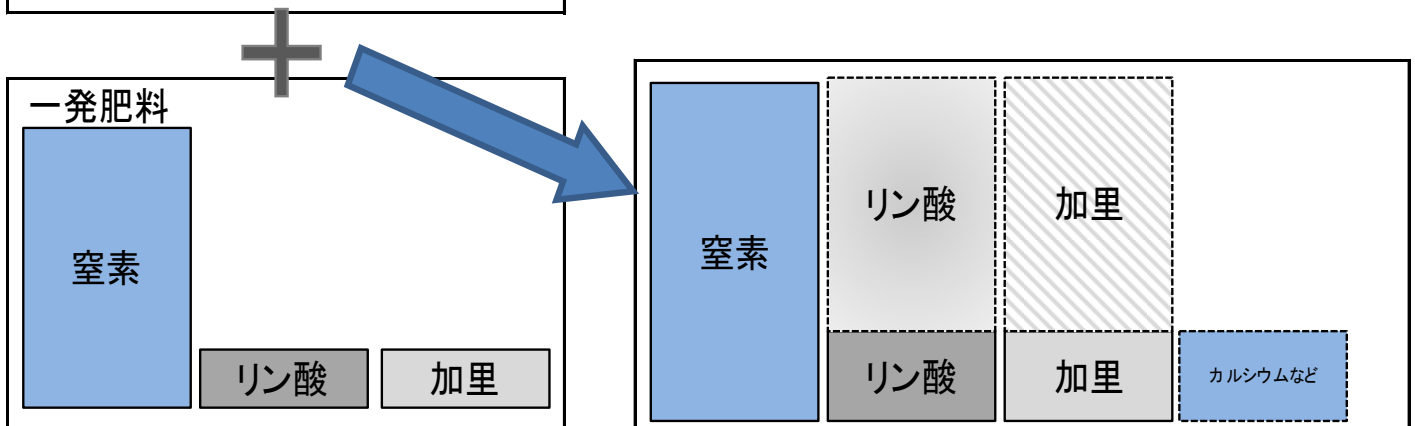


リン酸	加里
<p>根の伸長や分けつを助けます。同時に生長を助ける役割があります。</p> <p><u>欠乏すると・・・</u> 葉の幅が狭く直立し、分けつが少なく、草丈も短くなり生育が劣ります。主に初期生育に影響します。</p>	<p>登熟を向上させ、茎葉を丈夫にし、病害や倒伏に強い稲になるように助けてくれます。</p> <p><u>欠乏すると・・・</u> タンパク質・光合成・でんぷん合成が阻害されます。下葉に赤褐色の斑点が発生し、根の活力が衰えます。特に籾の登熟に影響が大きく、収量・品質を左右します。</p>

## リン酸・加里を補給するためミネラルPKを散布しましょう。



現行の一発肥料だけではリン酸や加里が不足してしまいます。リン酸・加里・カルシウムに加え微量元素がバランスよく配合されているミネラルPKを積極的に散布し、リン酸・加里を補給しましょう。  
(60kg/10ア)



## 身近なことから取り組む獣害対策

○あきらめないで。粘り強く、何度でも対策をしましょう。

有害鳥獣の防除柵としてワイヤーメッシュ柵を設置する方が増えています。日々の点検や管理を欠かさず行うことで、被害発生を抑え、防除効果を持続させましょう。地域一丸となって被害発生を抑制しましょう。

◆設置後も見回り点検を行い、不良箇所は修繕し、獣の侵入を防ぎましょう。



○獣の隠れそうな場所をなくしましょう。

管理されていない竹林・藪や空き家は、獣たちの隠れ場所となります。獣たちに安全な居場所を与えないようにしましょう。

◆竹林や藪は、適宜刈り払い、見通しをよくして、隠れ場所をなくし、空き家の床下・天井を定期的に点検し、獣が侵入していないかを確認しましょう。

○畑に残った野菜や放任果樹は、食べさせないようにしましょう。

畑に作物の取り残しがあると、鳥獣の食料になります。餌場にならないように管理しましょう。

◆獣のエサにならないように、農作物は必ず収穫しましょう。果樹は伐採や枝の剪定を行い、実がつかないようにしましょう。



○鳥獣対策は、農家だけの問題ではありません。地域全体の重大な課題です。

有害鳥獣は、水田だけに出没するわけではなく、エサを求めてさまざまな場所に出没します。被害は農作物のみならず、家庭菜園への侵入や自動車との衝突など、地域の皆さんの生活の中でも遭遇する身近な課題と言えます。